

4月に入り新期の年度初めです。

私も町内の3役の会計をすることになり、週末等々に余計な集まりが増えそうですHi
XYLそして娘も通った母校の教会の記念公開があり、Xと散歩がてらに訪れましたのでそちらを紹介させていただく事にしました。

Xは中学・高校を、娘は中学～大学まで過ごした思い出の場所です。

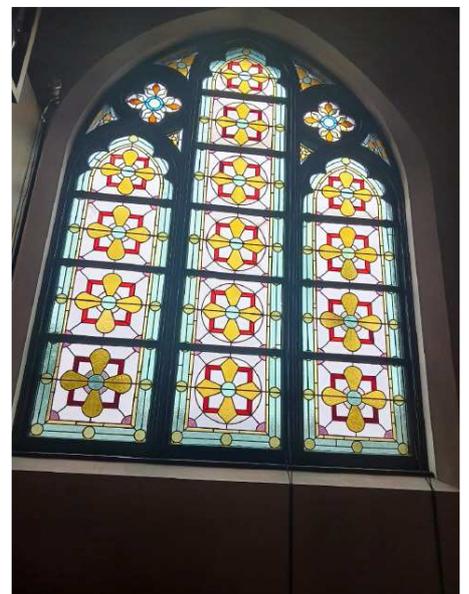
Xが卒業して半世紀経ちますが、こうしてまだ当時の姿のまま残っているのは素晴らしいですね

私が通った中学と高校は現在その系列の小学校となっており、校舎は建て替えられて無くなっており、記憶の中におぼろげに点在している程度です。

Xがチャペルの中で何を思っているのか？

“ああ！人生もう一度やり直せたら・・・”

と思っていない事を祈るばかりです。



- 創立150周年 記念公開 -

平安女学院 公開建築

ごあいさつ

学校法人平安女学院は、日本聖公会に属するキリスト教主義の女子学校です。1875(明治8)年、大阪の川口区留地において、ガードロード・エディによって創立されました。1894年に京都に移転。翌年から京都での授業が始まりました。その後、学院は、京都を代表するミッション系女子学校として発展し、1947(昭和22)年に新制の中学校を、翌年には新制高等学校を設置しました。また、1950(昭和25)年には短期大学を、2000年には4年制大学を設置。2007年に京都キャンパスに国際観光学部を開設しました。現在、京都と高槻の2キャンパスに、大学(国際観光学部・子ども教育学部)・高等学校・中学校・こども園があります。

学院は、2025年に創立150周年を迎えます。また聖アグネス教会は、2023年に日本聖公会京都教区主教座聖堂・学院礼拝堂としての聖別125周年を迎えました。学院の長い歴史と共に歩んできた建造物を通じ、本学院の教育について理解を深めていただければ幸いです。

聖アグネス教会(京都市指定有形文化財)

建築師 瓦造・円隆 献堂:1898年 設計:J.M.ガーディナー

創建時は「聖三一大聖堂」と呼ばれた。現在は、聖アグネス教会という地域の教会、日本聖公会京都教区の主教座聖堂(Cathedral)、地域のまた平安女学院の礼拝堂(Chapel)という3つの役割を持っている。

3層の鐘楼を持つゴシック様式の教会堂で、内部は、身廊とその両側に側廊を有する三廊式バシリカ型平面で構成されており、奥に祭壇、南西隅に洗礼堂を備えている。設計者のガーディナーは、米國聖公会の宣教師で、立教学校(立教大学の前身)の初代校長を勤めた。京都では円山公園にある長楽館の設計者として知られる。多数のステンドグラスは、ほとんどが創建時のもので、彼のデザインである(製造は宇野澤辰雄)。1931年に祭壇を中心に改築され、今の姿になった。現在、京都市に残る最古の教会建築であるが、近年、痛みが目立つようになっている(聖堂内にて修復工事のための寄付金を募っています。ぜひご協力ください)。



竣工時の聖アグネス教会(1898年)。塔の頂部に1931年の改修で無くなった凸凹の装飾が見える。塔の文様は「菊の御紋」に似ているとして指摘を受け、取替えた。正門の奥は、1943年の木造校舎移築で撤去された玄関。

